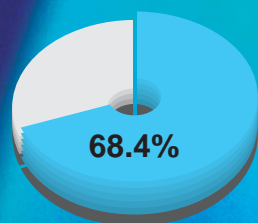


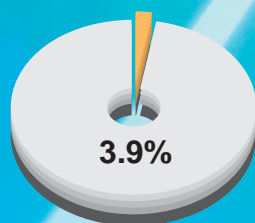
営業の概況

売上高およびその他の収入合計に対する割合*

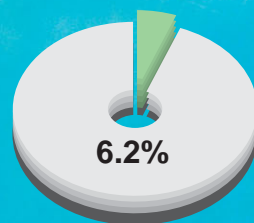
セキュリティサービス事業



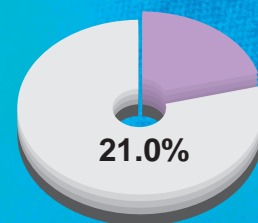
メディカルサービス事業



保険サービス事業



情報・通信・その他のサービス事業



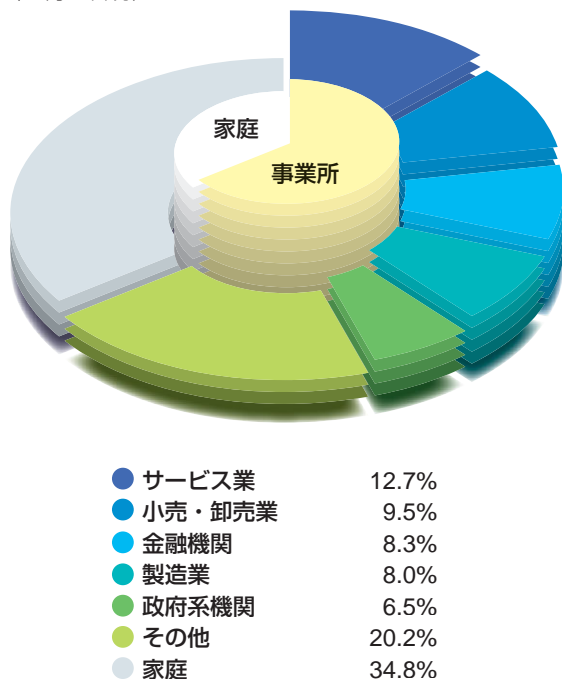
* セグメント間取引を除く。

目次

セキュリティサービス事業	17
メディカルサービス事業	18
保険サービス事業	18
情報・通信・その他のサービス事業	19
海外活動	20

セントラライズドシステムの契約先区分

2004年 3月31日現在



■ セキュリティサービス事業

セントラライズドシステムおよびローカルシステム 契約収入

当期の事業所向け、家庭向けのセントラライズドシステムおよびローカルシステムからの収入は、前期比2.7%増の2,653億円となり、売上高およびその他の収入合計に占める割合は、前期の49.6%から49.3%となりました。

セコムグループでは、高品質なセキュリティサービスを提供するために、セントラライズドシステムの研究開発から機器の製造、営業、設置工事、24時間監視、緊急対処、メンテナンスに至るまで、一貫して自社で行う体制を確立しています。セントラライズドシステムの仕組みは、侵入・火災・設備異常などをキャッチするセンサーをご契約先の建物に設置し、通信回線でセコムのコントロールセンターと結んで、管制員が監視します。ご契約先に異常が発生

した場合、その情報がコントロールセンターに送信され、管制員が緊急発進拠点の緊急対応員に急行を指示し、適切な処置を行います。また、必要に応じて警察や消防署などに通報します。

事業所向けセキュリティでは、画像監視を特長とするセントラライズドシステム「セコムAX」などを積極的に販売しました。また、汎用性の高い「セコムDX」に、画像によって警報機器の操作者管理と待ち伏せ・押し込み強盗に対する安全管理ができるDXモニターを付加し、競争力を高めました。マンション向けセキュリティシステムとしては、既築・新築を問わず、小規模から大規模まで、さまざまなタイプのマンションに適用できる「SECOM MS-3」を発売し、快適で安心なマンションライフをサポートしています。

家庭向けの「セコム・ホームセキュリティ」は、ご家庭で発生する侵入・火災・ガス漏れ・非常通報・救急通報などの異常をセコムのコントロールセンターで監視し、異常が発生した場合、緊急対応員を急行させ、必要に応じて警察や消防署などに通報します。当期も、家庭向けの主力システムである「セコム・ホームセキュリティ」の契約は順調に推移しました。

ローカルシステムは、主に大規模施設向けのセキュリティシステムで、遠隔監視ではなく、ご契約先での監視を基本とした常駐警備員とシステムによる防犯・設備監視サービスです。大規模施設のセキュリティノウハウと最新のネットワーク技術を融合した、ビル総合安全管理システム「セコム・トータックスZETA」などを提供しています。

その他のセキュリティ契約収入

その他のセキュリティ契約収入部門には、高度な訓練を受けた安全のプロフェッショナルが人間の判断力や応用力を最大限に活かして警備する常駐警備契約と、特殊車両に乗った安全のプロフェッショナルが現金や有価証券などを安全・確実に輸送する現金護送契約が含まれます。この部門の売上高は、前期比5.6%増の562億円となり、売上高およびその

営業の概況

他の収入合計に占める割合は、前期の10.2%から10.5%となりました。

安全商品およびその他

当社では、CCTV(監視カメラ)システム、出入管理システム、消火システム、屋外・屋内監視システムなど、単体でも機能しオンライン・セキュリティシステムと接続しても利用できる安全商品のほか、位置情報提供サービスの「ココセコム」を販売しています。

安全商品およびその他の売上高は、前期比4.5%増の461億円となり、売上高およびその他の収入合計に占める割合は、前期の8.5%から8.6%となりました。

CCTVシステムでは、劣化のない鮮明な画像を表示・記録するフルデジタル画像監視システム「D-CCTV」が、当期も順調に推移しました。また家庭向けに、顔検知機能を内蔵することによりインターホンのチャイムで不用意に玄関を開けるのを防ぐ「セキュリティフェースインターホン」や、防犯ガラス「SECOMあんしんガラス」など、巧妙化・凶悪化する犯罪を防ぐ新商品を次々と発売しました。

「ココセコム」は、お客様のご要望にお応えして、ラインアップを一層強化しました。当期は、「ココセコム」専用携帯端末所持者の安否確認などができる通報サービス付き新型「ココセコム」のほか、ペット用「ココセコム」や電動自転車用「ココセコム」なども発売しました。

■ メディカルサービス事業

当期のメディカルサービス事業の売上高は、前期比6.4%増の212億円となりました。売上高およびその他の収入合計に占める割合は、前期の3.8%から3.9%となりました。

当期も、訪問看護・介護サービスや薬剤提供サービスなどの在宅医療関連サービス、遠隔画像診断支援

サービスや医療系情報システム、医療機器などの販売、高齢者向け施設の経営、医療機関向け不動産賃貸などを行いました。

訪問看護サービスは当期も順調に推移し、サービス拠点である訪問看護ステーションは全国32カ所に拡大しました。遠隔画像診断支援サービス「ホスピネット」は、高度の専門的能力を要する画像診断用の医療機器、MRI(磁気共鳴画像装置)やCT(コンピュータ断層撮影装置)による画像を、ホスピネットセンターに送信し、専門医が読影して主治医にコンサルティングを行うサービスです。医療系情報システムとしては、病院やクリニックで発生する膨大なカルテ情報を安全に保管・共有できる「セコム・ユビキタス電子カルテ」の販売に努めました。

当期は、「セコム・ホームセキュリティ」をご利用のお客様にセキュリティと医療サービスを一体的に提供する「セコム・メディカルクラブ」のサービスを開始しました。また、医療事故を分析する「メディカル・リスクマネジメントシステム」を発売しました。

■ 保険サービス事業

保険サービス事業の売上高は、前期比14.5%増の334億円となりました。売上高およびその他の収入合計に占める割合は、前期の5.6%から6.2%となりました。

セコム損害保険(株)は、セコムグループのシナジー効果を最大限に活かした特色ある保険商品を販売しています。当期も、オンライン・セキュリティシステムのご契約で、リスクの低減分を保険料に反映させた事業所向けの「火災保険セキュリティ割引」や、家庭総合保険「セコム安心マイホーム保険」の販売に努めました。また、交通事故の際にセコムの緊急対応員が現場に急行し適切なサポートサービスを提供するとともに、「ココセコム」などの盗難防止装置を設置している場合に保険料が割引になる自動車総合保険「NEWセコム安心マイカー保険」の販売を促進し

ました。さらに、ガン治療にかかった費用を補償する自由診療保険「メディコム」は、自由診療であっても公的保険診療であっても患者負担分の治療費実額を補償するなど、より充実した補償内容にリニューアルしました。

■ 情報・通信・その他のサービス事業

情報・通信・その他のサービス事業については、売上高は前期比0.2%減の1,128億円となりました。売上高およびその他の収入合計に占める割合は、前期の21.7%から21.0%となりました。

情報系サービス

セコムグループのシステム構築・運用を行っているセコム情報システム(株)が、そのノウハウと技術力を活かして、企業の情報ネットワークシステム構築を数多く手がけています。

セコムトラストネット(株)は、IT化、ブロードバンド化に不可欠なサイバーセキュリティ対策、電子商取引や電子申請などに不可欠な高度電子認証、安全なネットワーク環境とサーバーの安全運用拠点の「セキュアデータセンター」など、お客様のeビジネスの安全性と信頼性向上のための高品質なサービスを提供しています。

当期は、「セキュアデータセンター」が、イギリスの大手製薬会社日本法人から社外向け情報システムとサーバーの保守管理業務を受託しました。また、建物や各フロアへの入退室管理などのフィジカルセキュリティとコンピュータへのアクセス管理などのサイバーセキュリティを、1枚のカードで実現した「非接触型ICカードシステム」を発売しました。

地理情報サービス

地理情報サービスと測量・計測分野でトップ企業の(株)パスコは、最先端のセンサーテクノロジーやGIS(地理情報システム)を活かした技術提案型営業を展

開し、お客様の視点に立った新情報サービスの提供に努めました。

地方公共団体向けには、行政業務の効率化や情報共有化を目的とした統合型GIS「PasCAL」等を販売するとともに、各種公共施設の管理システムを開発しました。

企業向けには、GISを活用したパッケージ商品である「経営ナビ」シリーズの販売に注力しました。当期は、インターネット対応のエリアマーケティング商品「MarketPlanner」を発売しました。

教育

コンピュータ教育分野のパイオニアであるセコムラインズ(株)は、小・中学校を中心とした教室内LAN学習システム、学校内でのインターネットを活用した学習支援ソフトやWeb配信型教育用コンテンツを開発・提供しています。

不動産販売

セコムホームライフ(株)は、「安心と快適のマンション」をコンセプトに、セコムグループの最新のセキュリティシステムをはじめ、医療、介護、情報、保険などの付加価値を融合させた、オリジナリティの高いマンションを供給しています。当期も、「安全・安心」を重視した上質のマンションの開発・販売に取り組みました。

不動産賃貸

(株)荒井商店は、不動産賃貸事業で蓄積したプロパティマネジメントのノウハウを活かし、当期も事務所ビルなどの不動産賃貸事業を中心に事業展開しました。

■ 海外活動

「安全は、人間や社会が普遍的に必要とするものである」。このように考えるセコムは、海外でも事業を展開しています。1978年の台湾進出に始まり、次いで韓国と米国で、その後ヨーロッパではイギリス、オセアニアではオーストラリア、アジアではタイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、中国と、計10の国と地域で、質の高いセキュリティサービスを提供しています。

セコムの海外セキュリティサービス事業の特徴は、日本で培ったノウハウを活かしながら、セコム方式

のセキュリティシステムをその国や地域の状況に応じてカスタマイズしている点にあります。このような事業の進め方によって、セコムのセキュリティサービスは国や文化の違いを超えて世界のお客様から好評を得ています。

世界規模で安全・安心ニーズへの対応を追求しているセコムは、これからも「信頼のブランド」として世界各国の地域社会の「安全・安心」に貢献してまいります。

